

傳設計ニュースレター

CONTENTS

◆今、伝えたいこと

～お見舞い～
～17期を迎えました～

◆設計業務TOPIX

☆温故知新
～ラフォレルアンテナ
にお邪魔しまし
た！～

☆長期修繕計画③
～浸水していないか
らって～

☆建築Q&A③
～防災と減災の違
いって～

◆学生さんのお知恵拝借

◆只今奮闘中！平成25年 入社内定者研修

◆傳設計社員名鑑

◆会社情報

今、伝えたいこと ～お見舞い～

平成24年7月11日から14日にかけて九州北部地方で発生した「九州北部豪雨」で被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

私たちは、日頃より安全・安心な建物をお客様に提供すること、いかにして「減災」するかをモットーに仕事をしております。今回の災害でも流されていく家や木々、車の映像を見て、自然の力を前に人間の無力さを感じ、一方で設計を業とする者として、身が奮い立つような使命感を覚えました。このようなことが二度とないように、日々考え、いかにして「減災」に取り組むかを皆様にご提案し続ける必要があると感じました。

改めて、お亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。



～17期を迎えました～

弊社は平成24年8月1日をもちまして法人としての17期を迎えることができました。永きにわたって会社を継続できているのも、取引先の皆さま、同業者の皆さまに支えられてこそ、と深く感謝しております。

本年は社内の方針発表を兼ねたささやかなパーティを行いました。私、岩本からの17期の会社の目標、意匠担当の西村、構造担当の中里より部の目標を発表し、社員で共通の認識をもった次第です。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

(株式会社傳設計 代表取締役 岩本茂美)



岩本 茂美 (いわもと しげみ)

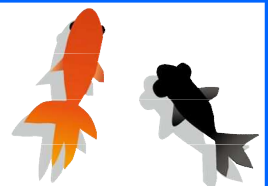
株式会社傳設計 代表取締役

夏と言えば……

1. 何はさておきビール。おつまみは故郷・指宿のオクラで決まり！
2. みんなでワイワイバーベキュー。意外と火起こし・火の番が得意。
3. かき氷。シロップなしの練乳派。宇治金時なら言うことなし。

※ビールと言えば、10月のオクトーバーフェストに興味津々。(一緒に行く人募集中。)

傳設計のFacebookともどもよろしくお願い致します！



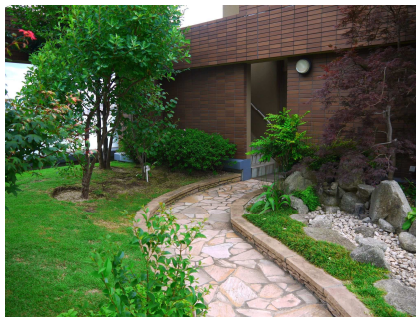
～温故知新～ラフォレルアンテナにお邪魔しました！

「論語」に曰く、「温故知新」とは「過去の事実を研究し、そこから新しい知識や見解をひらくこと」。分野を超えた学びの手法ですが、設計においてもまた然り。ということで、去る6月30日、私たち傳設計は博多区のとあるマンションの見学に行ってきました。実はこのマンション、社長の岩本が8年前に設計したマンション「ラフォレルアンテナ」で、このたびオーナー・森田様のご好意で10階建マンションの10階にあるご自宅を見せて頂けることになったのです。

が説明して下さるには、近くにビルが建った時の在り方やお客が多く訪れる森田様ならではの室の使い方、バリアフリーなども考慮された設計なのだそう。因みにコチラ、竣工時の外観&お庭です↓



これが7年で・・・↓



し、設計業務が終わってからもこうしてつながりを持ち続けていられる様子に感銘を受けた社員も多かったようです。新入社員からは「経験や知識が豊かな先輩方と共に実物を見て学べたことは、本から得る知識よりも解りやすく、勉強になりました」との感想もあり、お邪魔させて頂いてホントに良かったと思えました。温故知新ということで、この日に学んだ先達の仕事が今後どのように花開くのか楽しみです。森田様、貴重な機会をありがとうございました。

傳設計 設計業務



実物を見ながら設計者に解説してもらえるのはとても良い経験に。

当日の天気予報は雨。にも関わらず、快晴&虹！日頃の行いが良かったかも？！なんて喜んでいたので、雨のつもりでいたために紫外線対策をしておらず、こんがり日焼けしてしまった人…涙。



最上階にご自宅が。気分はまるで「天空の城ラピュタ」？！



お邪魔するに当たり、まずは図面と写真で予習。この「ラフォレルアンテナ」は壁式ラーメン構造という、壁の中に柱と梁を内蔵した構造で建物を支えています。これにより柱型が無く梁型も少ないすっきりした空間が実現したそうです。そして、柱配筋の壁を戸境近くに配置することで、将来のリフォームなどもしやすくなっています。可変性のあるラーメン構造と、すっきりした空間が実現できる壁式構造の良さが見事に活かされていました。そして実際にご自宅にお邪魔してびっくり！住居部分だけでなくお庭、離れ、ジャグジーやゴルフの練習場などもあり、そこに360度の素晴らしい眺望が加わった何とも贅沢な空間でした。森田様



あの時岩本がな……

長期修繕計画③～浸水していないからって……～

九州北部豪雨では、長期間に渡り雨が降り、その被害は未だ私たちの生活に大きな影響をもたらしています。梅雨は明けましたが、もうすぐ台風の季節…。先般の豪雨が記憶に新しい昨今、心配されている方も多いのではないかと思います。実は長期にわたる浸水や洪水なども、雨漏りによる湿気や水分によって建物そのものにダメージを与えてしまうことが建物にとって深刻な場合があります。

- 例えば…
- ◆建物の周囲に水が滞留した
 - ◆建物の細かな納まり部分に雨水が襲いかかってきた
 - ◆屋上やベランダの排水溝にごみ(葉っぱ等)が詰まり、雨があふれたなどといったことには要注意。
 - ◆壁や柱、床の腐食
 - ◆カビの大量発生
- が起こる可能性があります。

気が付かないうちに建物の強度や耐久性の低下をもたらすことがあるため、気付いた時にはもう遅い…といったことも。そういったことがないように、日頃から調査をしたり、メンテナンスを行うことが必要です。その結果、見つけた不具合と一緒に、長期修繕計画を立てましょう。これは建物を美しく維持

管理するための保存計画と資金計画です。因みに屋上防水や建具周りのシーリングの耐用年数は10-12年とされています。耐用年数を過ぎてもそのまま使い続けると漏水などの不具合が起こる可能性もあります。すでに長期修繕計画を立てられている方は見直しを行うことで、メリットが生まれることもあります。今年、〇〇の予定だったけど、この状態ならまだ大丈夫、計画を後延ばしにしよう、予想外のクラックが入っているから緊急に修理しようといったことも考えられます。皆さんにとって、大事な点を親身になって相談できる会社を見つけること、それこそが大事な建物を長く使うコツなのかもしれません。



NEW & HOT

TOPIX

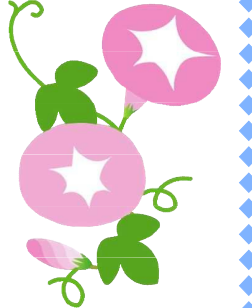
Q) 最近、ある建築士の方が「これからはどんな建物も減災ということを踏まえて設計する必要がある」と仰っていたんですけど「減災」って何ですか？「防災」とは違うものなんですか？(福岡市 Y.J.様)

A) 「防災」とは、災害の被害を出さない取り組みであるのに対して、「減災」とは被害が少なからず発生することを想定した上でその被害を軽減させていこうとする取り組みのことを言います。「防災」はあらゆる被害を0に抑えるのが最終目的ですから、あらゆる



る被害に対して保険的にまんべんなくコストをかけていく、という発想が進められてきました。しかし、2008年の阪神・淡路大震災を経験し、行政や災害研究者達は「どんなに備えてもその備え以上の災害が発生する可能性があり、被害の発生を完全に食い止めることはできないし、いくらコストをかけても間に合わない」という結論に達しました。そこで、ある程度被害が発生することを想定した上で予防を検討していくことが必要であるという問題意識から「減災」という概念が生まれたのです。「減災」では必ず被害は発生するという前提で、最も重大な被害から順に、限られた予算や資源を集中的に投入することで被害の最小化を目指します。こうした中、先の東日本大震災や高

齢化を踏まえ、建物の耐震化を優先して進める動きが高まっています。耐震診断・耐震改修に対して補助金制度を設けている自治体も少なくありません。(※内容は自治体によって異なります。) 傳設計ではこうした補助金等の制度の情報をいち早く入手して皆様にお伝えすることで、「減災」に貢献していきたいと考えています。DMやセミナー等でお伝えしていきたいと考えておりますので、ぜひご期待ください！ ※読者の皆様、建築に関する疑問や困っていることなどお寄せください。お待ちしております！



建築Q&A③～「防災」と「減災」の違いって？～

学生さんのお知恵拝借！

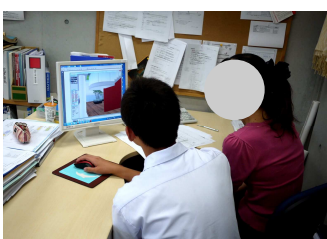
弊社には今夏、学生さんが来られています。多くの学生さんと、事務局が活気づいています！

《九州産業大学・3年生》

8月初旬より地元、九州産業大学の3年生が来られています。弊社のある福岡市東区香椎では、「香椎駅周辺土地画整理事業」が進んでおり、香椎にお住まいの方に再開発後の香椎がどうだったら喜んでいただけるのかをご提案すべく、地元をよく知る学生さんにお声かけした次第です。香椎は学生さんにとってはよく知る町ですが、改めて弊社意匠担当と一緒に香椎の町を歩き、実際に香椎にお住まいの方にお話を伺い、今までと違った観点から香椎を分析しているようです。また、学生さんは創りたいものを提案する傾向にあるのですが、弊社としては現実的に建つ建物、現実的な町づくりを行うことが重要です。学生さんのこれからの提案が楽しみです。



《中学2年生・職業体験》

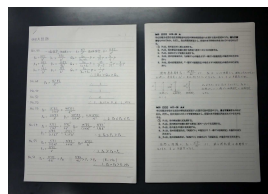


7月に近隣の中学校の先生から「将来、建築を仕事としたい生徒がおりますので、就業体験をさせていただきませんか？」との電話が。なにに、中学生！私は大学3年生の時にやっと方向性を決めたというのに、中学生で人生の目標を定めかかっているとは…何とスバラシイ！と迷わずお受けすることに。弊社が手掛ける公

共の建築物の検討を意匠担当の者と行いました。U君、来てくれてありがとうございました。建築の仕事に触れていかがでしたか？いつか立派な知識を身につけて、一緒に仕事ができる日が来るといいですね！

只今奮闘中！平成25年入社内定者研修

弊社では平成25年4月に2名の新人（構造）が入社予定です。入社前ではありますが、より深い専門知識を身につけてほしいと一級建築士レベルの問題を課しています。今はまだレベルの低い問題ですので、「○」の数も多いですが、これから少しずつ難しくなります。入社試験の段階で申し分ない成績だった彼らがどれくらいの知識を持っているのか、気になるところです。とは言っても、まだ入社前。焦らず少しずつ頑張りましょう！



社員名鑑

～vol.4



エグチ ヨウイチロウ

氏名：江口 洋一郎

年齢：32歳(社歴10ヶ月)

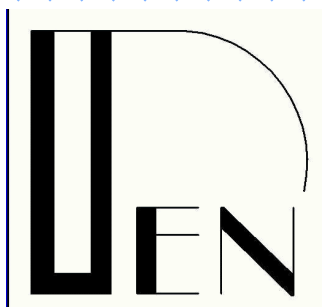
所属：設計2部

主な業務：構造設計

趣味：ゴルフ(スコアは100～110、いつかハワイでプレーしたい！)

構造設計と言えば数字と計算、意匠設計に比べて地味で面白味もないんじゃない？と言われることもあります。実は「建物に働く目には見えない力の流れをデザインする」というとても芸術的な仕事だと思っています。

建築関係の仕事をしていた親の背中を見て育ち、図工と算数が得意だったこともあって小学生の頃には「将来は建築の仕事をして！」と決めていました。まだまだ修行中の身ではありますが、いつか東京スカイツリーのような建物の設計に携わるのが現在の「将来の目標」です。



株式会社 傳 設 計

〒813-0013 福岡市東区香椎駅前2-1-15

TEL : 092-672-8538 / FAX : 092-672-8559

<http://www.dens.co.jp/index.php>

☞ 社員のブログ大好評連載中！



角のバイク屋さん
が目印です！